

令和 7 年度文化財保護事業報告

1 文化財保護審議会（年 1 回開催）

「清須市文化財保護条例」（平成 17 年 7 月 7 日条例第 85 号）、「清須市文化財保護条例施行規則」（平成 17 年 7 月 7 日教育委員会規則第 31 号）に基づいて設置。

2 文化財保護関連予算

（単位：千円）

区 分	令和 7 年度予算額	令和 6 年度予算額
教育費総予算	4,143,860	4,127,052
社会教育費	494,495	613,199
文化財保護費	21,519	20,438
文化財保護審議会委員報酬	67	67
文化財保護事務費	228	212
文化財保護事業費	1,652	655
指定文化財補助金	11,240	11,340
西枇杷島問屋記念館費	6,739	6,725
歴史資料展示室費	1,593	1,439

3 文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

(1) 文化財の指定

清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて 35 件（国指定 2 件、県指定 3 件、市指定 29 件、国登録 1 件） ※「参考資料」指定文化財等一覧参照

(2) 埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し、清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布しており（「参考資料」遺跡一覧参照）、埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘に係る届出の受理、発掘調査等の実施等を行っている。

●令和 7 年度発掘調査等に係る届出件数（令和 8 年 2 月末日現在）

93 条届出	94 条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
130 件	15 件	4 件	3 件	1 件

※ 93 条届出：民間開発に伴う届出、94 条通知：公共事業に伴う通知

※ 93・94条届出の内訳

朝日遺跡12件、清洲城下町遺跡114件、土田遺跡7件、廻間遺跡2件、
外町遺跡6件、小田井城跡1件、西田中遺跡1件

*員数2（朝日遺跡、清洲城下町遺跡）2件

① 発掘調査

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期日	事業面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査概要
1	清洲城下町遺跡	一場地内	店舗兼本社建設	R7.7.28 ～ R7.9.8	2549.61	約320	溝、土坑、流路跡、山茶碗、土師器、陶器、磁器、瓦等

② 確認調査

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期日	事業面積(m ²)	調査面積(m ²)	調査概要
1	清洲城下町遺跡	朝日弥生地内	宅地造成	R7.6.12	209	約8	遺構・遺物なし
2	土田遺跡	土田地内	土地売買	R7.7.4	180.78	約3.5	溝、土坑、山茶碗片等
3	清洲城下町遺跡	清洲地内	土地売買	R7.9.9	約747.1	約12	旧河道、甕、瓦片、土師皿、近世陶磁器片等

(3) 寄贈文化財関係資料の受け入れ

文献資料、民具資料等の資料の寄贈の受け入れを行った。

●令和7年度実績（5件・183点）

（令和8年2月末日現在）

No.	寄贈期日	寄贈者	寄贈資料概要	寄贈点数
1	R7.5.14	個人	民具他	23
2	R7.5.14	個人	古文書、リーフレット他	101
3	R7.6.17	個人	雑誌	57
4	R7.7.18	チーム三日月	パズル	1
5	R7.9.25	個人	写真	1

(4) 文化財の修繕

① 問屋記念館（市指定文化財）

問屋記念館ジオラマ模型修繕、障子張替等を実施。

② 箕浦コレクション

掛軸4幅の修繕（再表装・掛軸紐取替）を実施。

4 啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産（埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等）の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

(1) 歴史資料展示室における資料の公開

市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナーとより深いテーマ性を持つ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわかりやすい展示をめざす。

① 企画展「清須の軌跡—村から市へ—」

- ・会 期 令和7年4月19日（土）～11月30日（日）
- ・展示内容 市制20周年を記念し、所蔵資料から、主に昭和時代の旧4町を特徴づける資料を文献資料や民具、写真など幅広いジャンルで展示するとともに、高度経済成長期の資料も併せて展示し、各町のあゆみやその時代のくらしを紹介。
- ・入室者数 12,354人

② 企画展「幕末・明治維新期の清須—「高木家寄贈資料」から—」

- ・会 期 令和7年12月13日（土）～令和8年3月29日（日）
- ・展示内容 令和5年に高木家から寄贈を受けた、江戸城無血開城時の記録などが記された戊辰戦争従軍関係資料を手がかりに、清須の幕末から明治初頭にかけての市所蔵資料を展示し、当時の世相やこの地域との関わりを紹介。
- ・入室者数 4,111人（令和8年2月末日現在）

(2) 文化財講座・講演会

① 文化財講座

- ・会 場 清洲市民センター 3階302視聴覚室
- ・受講者数 延べ145名

回	期日	受講者数	内容	講師（敬称略）
1	R7.6.26	36	名古屋広小路物語 ～広小路の誕生、都心の形成、そして名古屋のメインストリートへ～	OASIS都市研究所 代表 杉野 尚夫
2	R7.7.24	33	深掘り！あいち朝日遺跡ミュージアム企画展「虫のおしらせ」	あいち朝日遺跡ミュージアム 学芸員
3	R7.8.28	38	織豊期清須の交通について	刈谷市歴史博物館 学芸員 山下 智也
4	R7.9.25	38	比べる！尾張と三河の戦国時代 ～清洲城下町遺跡と野添遺跡（豊橋市）の比較から～	愛知県埋蔵文化財センター 調査研究主事 田中 良

② 文化財講演会

- ・講演名 「桶狭間の戦いと信長・清須」
- ・講師 小和田 哲男 氏（静岡大学名誉教授）
- ・期 日 令和7年9月20日（土）
- ・会 場 春日公民館 ホール
- ・内 容 桶狭間の戦いを手がかりに、織田信長がどのように今川氏と対峙し、成長していったのかを清須との関わりを軸に考える。
- ・参加者数 317名

③ 古文書講座

- ・テーマ 「初めて読む古文書講座」
- ・講師 毛利孝一氏（元西枇杷島町文化財調査委員）
- ・期 日 令和7年11月20日（木）、12月18日（木）
令和8年 1月15日（木）、 2月19日（木）
- ・会 場 清洲市民センター 3階302視聴覚室
- ・内 容 初めて古文書に触れる方が、仮名文字や数字など基礎的な内容から学び、地元に関係する古文書を読むことで地域の歴史に触れる。
- ・受講者数 延べ85名

(3) あいち朝日遺跡ミュージアム関係事業

サタデーキッズクラブや文化財講座等の開催、市広報・ホームページ等での周知など連携を図り、大人から子どもまでの幅広い年代に対して朝日遺跡をはじめとした地域の歴史・文化財の周知を図るとともに、「あいち朝日遺跡ミュージアム」の周知・機運の向上に寄与する。

① サタデーキッズクラブ

「朝日遺跡探検隊」

- ・期 日 令和8年2月21日（土）
- ・場 所 あいち朝日遺跡ミュージアム
- ・内 容 朝日遺跡を探検する。
- ・参加者数 5名

② 歴史講演会・ミニシンポジウム（共催事業）

- ・講 師 海部陽介氏（東京大学教授）
講演「海の向こうを目指した祖先たち：日本列島4万年の歴史」
増山禎之氏（田原市教育委員会 学芸員）
研究発表1「渥美半島における縄文時代から弥生時代の海洋活動」
原田幹氏（あいち朝日遺跡ミュージアム 館長）
研究発表2「朝日遺跡と海」
浅岡優氏（西尾市教育委員会 主査/学芸員）
研究発表3「佐久島の考古学—古墳と製塩の島—」
- ・期 日 令和8年2月7日（土）
- ・会 場 清洲市民センター ホール
- ・内 容 伊勢湾・三河湾を中心に、海に関わる諸活動・役割を後期旧石器時代から古墳時代まで通して考える。
- ・参加者数 154人

(4) 文化財関係刊行物の販売

生涯学習課で刊行物の販売を行っている。（「参考資料」刊行物一覧参照）

(5) 歴史文化振興事業

平成19年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

5 施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

西枇杷島問屋記念館

- ・名称 清須市西枇杷島問屋記念館
- ・所在地 清須市西枇杷島町西六軒20
- ・面積 敷地面積 1,391.55㎡ 延床面積 151.62㎡
主屋 98.82㎡ 離れ 52.80㎡
- ・構造 木造2階建
- ・開館 平成5年4月
- ・概要 「下小田井の市」の創始者の一人といわれる山田九左衛門家の住居を平成4(1992)年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家の中でも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。
- ・開館日数 308日予定
- ・休館日数 57日
- ・入場者数 2,570人(令和8年2月末日現在)

6 指定文化財補助

市指定文化財(個人等管理)に対し、修理・管理・公開について補助を行う。

- (1) 修理費補助 有形民俗文化財(山車) 2件
- (2) 管理費補助 ① 有形文化財 8件
② 有形民俗文化財(山車) 6件
- (3) 公開費補助 有形民俗文化財(山車) 13件(尾張西枇杷島まつり、小学校校外学習、愛・地球博20祭、愛知山車まつり体験会等)
- (4) 文化財関連団体(西枇杷島町山車保存会)
 - ・目的 西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。
 - ・代表者 会長 高木正幸
 - ・会員等 橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杵西町の町内会会員
 - ・主事業 尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他